

## 日本農芸化学会中部支部維持会員賞 受賞者一覧

(各年度ごとに五十音順、敬称略)

2008 年度 (第 153 回例会)

- ・ 東 剣虹 (名大院生命農) 「酵母の経時寿命を制御する新規遺伝子群の解析」
- ・ 飯島崇士 (信州大院農) 「メチル化カテキン類縁体と resveratrol の合成」
- ・ 伊藤 克 (三重大院生資) 「DNA メチル化阻害剤 5-aza-dC による染色体不安定化」
- ・ 大脇貴薫 (信州大農) 「遺伝性アミロイドーシス型シスタチンを用いたポリフェノール類の抗アミロイドーシス性」
- ・ 齋藤裕樹 (岐阜大応生) 「DNA アレイによるカテキンの脂質代謝改善作用機構解析」
- ・ 鈴木泰裕 (信州大農) 「多糖鎖導入による蕎麦主要アレルゲン Fag e 1 の免疫応答の改善」
- ・ 宮崎敦史 (名大院生命農) 「新規タンパク質標識プローブを用いた Tautomycin によるタンパク質脱リン酸酵素阻害機構の生物有機化学的研究」
- ・ 森 大気 (静岡県大食品栄養) 「蛋白質システイン残基との共有結合反応に関与するカテキン類の酸化特性」

2009 年度 (第 156 回例会)

- ・ 秋山友香 (名大院生命農) 「腸上皮細胞による抗原タンパク質の取り込みと輸送」
- ・ 小川紘史 (信州大農) 「アルツハイマー型認知症予防が期待されるポリフェノールの酵素的グリコシル化」
- ・ 坂本和洋 (静岡県大生活健康科学) 「緑茶成分テアニンによるラットの記憶・学習能に及ぼす影響」
- ・ 高橋千奈 (岐阜大応生) 「ペプチドアレイを活用した大豆タンパク質由来の新しい胆汁酸結合ペプチドの網羅解析」
- ・ 田中千絵 (三重大院生資) 「脂肪細胞が分泌する膜小胞は新たな細胞間伝達媒体としての可能性を持つ」